

和歌山だよいい

平成24年 9月号



生石高原 (紀美野町)

CONTENTS

1. 知事メッセージ…………… P1
2. 和歌山県政トピックス… P2～P9
3. お知らせ…………… P10
4. ふるさと歳時記…………… P11



国体マスコットきいちゃん

「 紀伊半島大水害 」

ほぼ1年前、昨年9月3日、4日の紀伊半島大水害のことは忘れることはできません。台風12号がなかなか動かず、大雨が降り止まず、備えをがんばっていたはずの和歌山県中が濁流と崖崩れでずたずたになりました。60人を超える死者・行方不明者を出し、何千という住宅、建物、農地が被害に遭いました。160カ所の道路が通行不能になり、堤防や鉄橋は吹っ飛び、40の地域が孤立化してしまいました。

恥ずかしいことですが、あまりの惨状に「何でこんな時に知事でいるんだろう」と運命を呪いました。しかしすぐに、同じ言葉の間に「だからがんばらないといけないんだ」と答えようと考えました。人命救助のために、直後は空しか使えなかったので、防災大臣にすぐ電話をお願いして、ありったけのヘリコプターを動員してもらいました。自衛隊や各県の警察、消防、国交省の精鋭部隊などの支援も最大限いただきました。次は応急復旧です。市町村の方々、建設業界、県中の建築士の方々、産廃業の方々、医療関係の方々など地元の方々の献身が1つにまとまりました。電力・通信などの復旧には全国から応援隊が駆けつけてくれました。県庁の職員もここぞとがんばりました。そして、所掌や権限を越えて、被災地に突撃しました。東日本大震災で支援する立場から得ていた知見も生きました。そしてほとんどの地域が1カ月前後で応急復旧を果たせ、がれきも片が付く、観光客も迎えることができるようになりました。今やステージは本格復旧の時期に移りつつあります。本年度95%の本格復旧を完成させるぞと県政史上空前の工事が行われています。生活や仕事の再建のための各種の助成策も作りました。

この復旧の速さは、全国的にも有名になり、今年九州北部の大水害の時には、被災県の当局にその知見とノウハウを伝授して大いに喜んでもらえました。しかし、災害の傷は、まだ十分に癒えていません。家や職場を失くされた方々の生活が元通りの生活に戻るまで、手を抜くわけにはいきません。災害にもっと強い県土作りもしないといけません。それに何よりも、亡くなった方々は戻ってはこられません。この傷は永遠に癒えません。8月のお盆にはその御霊に心から哀悼の気持ちを捧げました。



9 / 4 那智勝浦町紀伊半島大水害慰霊祭にて

今月の和歌山県政トピックス

* 最近の県政の動きや県内の話題などをピックアップしてお届けします。

●ロンドンオリンピック・ロンドンパラリンピック和歌山ゆかりの選手が大活躍!!

・7月27日から8月12日まで開催されたロンドンオリンピックでは、日本が史上最多となる38個のメダルを獲得し、列島全体がオリンピックの熱気と興奮の渦に巻き込まれました。

・和歌山県内でも、ゆかりの選手を応援しようと、各地でパブリックビューイングが開催されました。時差の関係で深夜の開催となったにもかかわらず、多くの皆さんが参加。仁坂知事も、体操競技やレスリングの応援に駆けつけ、会場の皆さんと一緒に、声援をおくりました。

・本県ゆかりの選手では、アーチェリーの古川高晴選手が個人で銀メダル、体操の田中和仁、佑典選手が団体に銀メダル、レスリングの湯元進一選手が銅メダルと大活躍し、多くの人々に夢と感動を与えてくれました。

・今大会で、都道府県別人口一人あたりのメダリスト輩出数は和歌山県が第1位(約33万人に1人)だそうで、紀の国わかやま国体後に開催される次のオリンピックでも、和歌山ゆかりの選手の活躍が期待されます。

・また、ロンドンパラリンピックでも水泳の中村智太郎選手が銀メダルを獲得。力強い泳ぎに多くの声援が送られました。



和歌山ゆかりのメダリスト・入賞選手 (五十音順、敬称略)

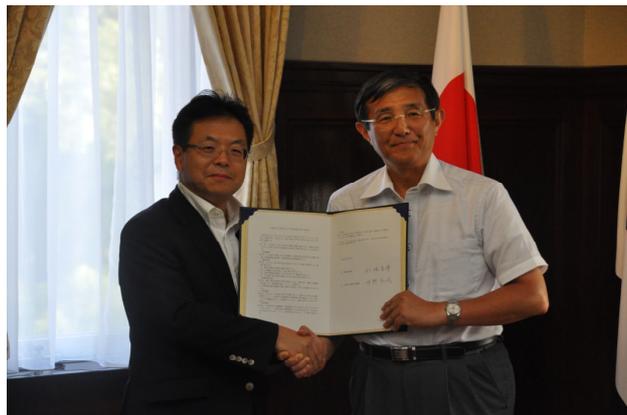
氏名	競技種目	所属	主な成績
さかもと なおや 阪本直也 (24歳) 田辺市出身	カヌー (カナディアン シングル)	和歌山県教育 センター学び の丘	スプリント男子カナディアンシングル 200m 8位入賞
たなか かずひと 田中和仁 (27歳) 和歌山市出身	体操	徳州会体操ク ラブ	男子団体銀メダル、 個人総合6位入賞、種目別平行棒4 位入賞
たなか りえ 田中理恵 (25歳) 和歌山市出身	体操	日本体育大学 研究員	女子団体8位入賞
たなか ゆうすけ 田中佑典 (22歳) 和歌山市出身	体操	株式会社コナ ミスポーツ& ライフ	男子団体銀メダル 男子種目別平行棒 8位入賞
にしおか しほ 西岡詩穂 (23歳) 和歌山市出身	フェンシング (フルーレ)	NEXUS 株式会 社	女子フルーレ団体 7位入賞
ふるかわ たかはる 古川高晴 (27歳) 青森県出身	アーチェリー	近畿大学生物 理工学部職員	男子個人総合 銀メダル 男子団体 6位入賞
ゆもと けんいち 湯元健一 (27歳) 和歌山市出身	レスリング (フリースタイル) 60kg級	総合警備保障 株式会社	男子フリースタイル60kg級 5位 入賞
ゆもと しんいち 湯元進一 (27歳) 和歌山市出身	レスリング (フリースタイル) 55kg級	自衛隊体育学 校	男子フリースタイル55kg級 銅メ ダル
なかむら ともたろう 中村智太郎 (28歳) 橋本市出身	水泳 パラリンピック	Diversy 大阪 支店	男子平泳ぎ100メートル 銀メダ ル

●近畿大学と包括的連携に関する協定を締結！！

・8月3日、和歌山県と近畿大学との包括的連携に関する協定の調印式が、県庁知事室において行われました。

・この協定は、紀の川市にある近畿大学生物理工学部が来年20周年を迎えるにあたり、本県と近畿大学の連携を一層強化し、和歌山の特性を生かした豊かで活力ある地域社会の形成と発展を図るものです。

・仁坂知事は「協定の締結により、研究交流や人材交流等が、さらに進むことを期待しています」と挨拶しました。近畿大学の世耕弘成理事長は、「和歌山の発展に役立つように頑張る。和歌山のために役立つ色々なノウハウも提供したい。」と話しました。



<協定に基づき実施する事業内容>

1. 研究の推進・産業の振興

- ・農林水産分野をはじめとし、県が抱える課題について共同研究や事業の実施
- ・県内企業と大学研究のシーズマッチング会の開催
- ・学生の県内就職支援

2. 人的資源の交流を通じた人材の育成

- ・県職員による大学での県施策講義、研究員・学生の交流
- ・那賀地域まちづくり事業への学生の参加
- ・食品事業者に対するオープンセミナーの実施

3. 生涯学習活動の推進

- ・社会人向け教養講座や小・中学生向けの体験教室の開催

※具体的な事業内容については、連携推進会議を設置し、協議の上、決定します。

<協定の対象となる近畿大学の機関>

和歌山県内に所在する機関

生物理工学部（紀の川市）、先端技術総合研究所（海南市）、水産研究所（白浜町、串本町、すさみ町、那智勝浦町、新宮市）、附属農場（湯浅町、有田川町）

●アドベンチャーワールド（白浜町）のパンダ「良浜」が赤ちゃんを出産！！

・8月10日、アドベンチャーワールドのパンダ「良浜（らうひん）」が双子の赤ちゃんを出産しました。1頭は死産でしたが、1頭は体長22センチ、体重167グラムの雌で、現在、元気に育っています。

・良浜は、アドベンチャーワールド生まれの11歳。平成20年と22年にもそれぞれ、双子を出産しており、子育て経験豊富なお母さんです。

・今回の赤ちゃん誕生で、同園が飼育するパンダは9頭になりました。国内ではもちろん最多、国外においても、パンダの母国である中国を除くと最多の飼育数となっています。

・赤ちゃんは、8月23日から、一般公開されています。公開は1日2回、時間は10時からと15時からで、1回20分間となっています。パンダ親子の体調によっては中止や変更されることもあるそうです。

・また、同時に赤ちゃんの名前も募集中です。詳しくは同社のホームページをご覧ください。（アドベンチャーワールドホームページ：<http://aws-s.com/>）



●南海トラフの巨大地震による津波高・浸水域等及び被害想定公表について

・内閣府より、「南海トラフの巨大地震」について今年3月末の「津波高・震度分布」の第一次報告に続いて、「震度分布、津波高、津波到達時間、想定浸水区域」の推計結果と「被害想定」が公表されました。

【既往の被害想定（和歌山県）と、前回（3月）と今回（8月）の比較】

	既往の被害想定（和歌山県）	国の被害想定（3月）	国の被害想定（8月）
地震規模	Mw8.7	Mw9.0	Mw9.0
最大津波高	4.3m ~ 8.8m	7.7m ~ 18.3m	8m ~ 20m
平均津波高	—	—	6m ~ 14m
想定浸水区域	6,292㍍	—	10,660㍍
最大震度分布	田辺市、印南町、みなべ町、上富田町、白浜町で震度7の揺れが予測	和歌山市、海南市などの20市町で震度7	和歌山市、海南市などの20市町で震度7
最大被害想定（人的被害）	約47百人～約50百人	—	約67千人～約80千人
最大被害想定（物的被害）	約85千棟～約105千棟	—	約169千棟～約190千棟

○最大津波が大きい地域

- 1 すさみ町：20m 2 美浜町・那智勝浦町・串本町：18m

○津波高が最短で到達する地域

- <津波高1m> 1 串本町・太地町：2分 2 那智勝浦町：3分

- <津波高5m> 1 串本町・太地町：3分 2 那智勝浦町：4分

○浸水面積が大きい地域

- 1 和歌山市：2,450ha 2 御坊市：1,040ha 3 串本町：980ha

<公表に対する知事コメント>

本日、内閣府から「南海トラフの巨大地震」に関する検討結果が公表されました。その内容は、大変厳しいものがあります。しかし、私たちがしなければならないことはこの厳しい内容に単に恐怖を感じるのみではなく、この内容を冷静に分析して、最善の対策を考案し、それを実行していくことであると思います。

例えば、内容をよく見ると、迅速に避難した場合とそうでない場合とでは、想定死者数に最大約四万人もの差があり、このことは、昨年4月以来我々が「防災・減災対策の総点検」の中で実施してきた、避難を中心とした防災対策の効果が高いことの証左でもあります。

防災教育については、自分の命を自ら守る教育を継続的に行うことにより、防災文化を醸成し、また防災訓練についても、命を守ることを最優先にした実践的な訓練に見直しを行うなど避難を中心とした防災対策にしっかり取り組んで参ります。

今回、津波が到達する時間も改めて明示されたことから、現状では県内に避難が困難な地域も想定されてきましたが、そういう地域では、今後住民の命を守るため、将来的な高台移転など地域の構造を変えていく必要もあると思います。

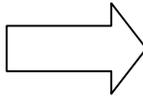
また、大規模災害に備えた安心・安全なインフラ整備を推進する必要性をさらに認識したところであり、国に対して、紀伊半島を一周する高速道路の整備について、これまで以上に強く働きかけて参ります。

●防災訓練を見直します！！

昨年の東日本大震災・紀伊半島大水害の教訓を踏まえ、和歌山県では既存の防災訓練の見直し・充実を図るとともに、より実践的な新たな訓練を実施します。

見直し方針

- ☆台風 12 号の教訓を生かした訓練
- ☆防災・減災対策の総点検結果の活用
- ☆防災関係機関との連携強化
- ☆劇場型訓練から実践的訓練へ

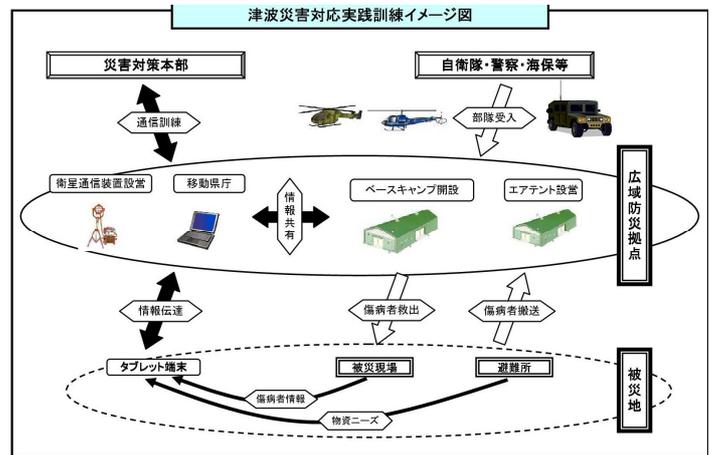


- 既存の訓練の見直し・充実
- 新たな実践的訓練の実施
- 新機材を用いた訓練の実施
- 住民避難訓練の充実
- 総合防災訓練の廃止

今年度から実施する新たな訓練

津波災害対応実戦訓練

- 広域防災拠点（コスモパーク加太）を中心として、救出・情報伝達等の津波災害を想定した訓練を行う
- 広域防災拠点要員に「個々の任務」「他機関との連携」等を理解させ、災害対応力の強化を図る。
- 関係機関と実践的訓練を行い連携強化を図る



孤立集落通信訓練

- 孤立集落に設置している防災行政無線等と用いて、市町村と孤立集落の間で通信訓練を実施。
- JAXA との協定に基づいた、超高速インターネット衛星「きずな」を使った通信訓練を実施

物資輸送・災害情報収集伝達訓練

- 受入物資集積所となるわかやまビッグホエールにおいて、物資の受入・仕分け・輸送訓練を実施。
- 新規整備する移動県庁・情報収集タブレット端末を活用し、県庁・広域防災拠点・被災地（市町村、避難所）の間で被災状況・物資ニーズ等の情報を共有し、物資提供者（協定企業等）との物資のマッチングを図る。また、移動県庁により最新の道路状況の情報提供を行い、トラック協会の協力を得て、市町村の物資集積拠点への物資輸送訓練を行う。

災害対策本部運営図上訓練

- 東海東南南海地震を想定し、初動対応の向上を目的として図上訓練を実施
- 第 1 回目は見直し後の総合統制室体制及び応急対応マニュアルの確認・検証を目的として発災直後の災害対策室立ち上げから第 1 回災害対策本部会議までの初期対応の訓練を実施
- 第 2 回目は防災関係機関との連携強化に主眼をおき、発災 3 時間後から 3 日後までの情報収集・災害対応・活動調整の訓練を実施

●「世界少年野球大会」が開催されました。

・「第22回世界少年野球大会」が7月24日から7月30日まで、和歌山、奈良、三重の三県を会場に開催されました。

・この大会は、野球や交流行事を通して国際理解を深め、友情を育むのを目的に、年に一度、世界少年野球推進財団の主催で行われており、今回は去年の紀伊半島大水害で被災した三県の復興を支援するために「つなげよう絆 届けよう紀伊半島から勇気・希望・笑顔」をスローガンに掲げての開催となりました。

・7月24日に三重県熊野市のくまのスタジアムで行われた開会式には同財団の王貞治理事長や開催三県の知事のほか、アメリカ、インドなど15の国や地域の子どもたちや関係者など多数が参加。

・王理事長は「野球や交流行事を楽しんで、元気を取り戻してもらいたい」と挨拶し、仁坂知事も「子ども達の笑顔こそが希望であり、勇気につながる」と話しました。

・期間中、野球の交流試合のほか、ミニ運動会や祭り体験なども催されるなど、様々なプログラムを通して交流が図られ、終始、子どもたちの笑顔が溢れる大会となりました。

・また、王理事長は美浜町にあるアメリカ村カナダ移民資料館で行われたセレモニーにも出席。この資料館には日米のホームラン王である王理事長とハンク・アーロン選手のユニフォームが展示されており、今回の来県を記念してセレモニーが開催されたもので、歓迎の声に王理事長はお礼を述べました。



●『第44回紀州おどり「ぶんだら節」』

『おどるんや～第9回紀州よさこい祭～』今年も盛大に開催！！

・8月4日、紀州おどり「ぶんだら節」と「おどるんや～紀州よさこい祭～」が同日開催されました。

・紀州おどり「ぶんだら節」には、今年も仁坂知事を先頭に県職員で組織する県庁連が参加。「紀の国わかやま国体」のイメージキャラクター一きいちゃんも加わり、3年後に迫った国体を大いにPRしました。

・「おどるんや『～紀州よさこい祭り～』

には、この日を含めて、計3日間の開催で、県内外から過去最高となる75チーム約3,000人が参加。和歌山城の他、市内9会場で鳴子を手に熱い踊りが繰り広げられました。

・同日開催も、今年で4年目となり、多くの見物客が和歌山市の夏を彩る新旧の風物詩を堪能しました。

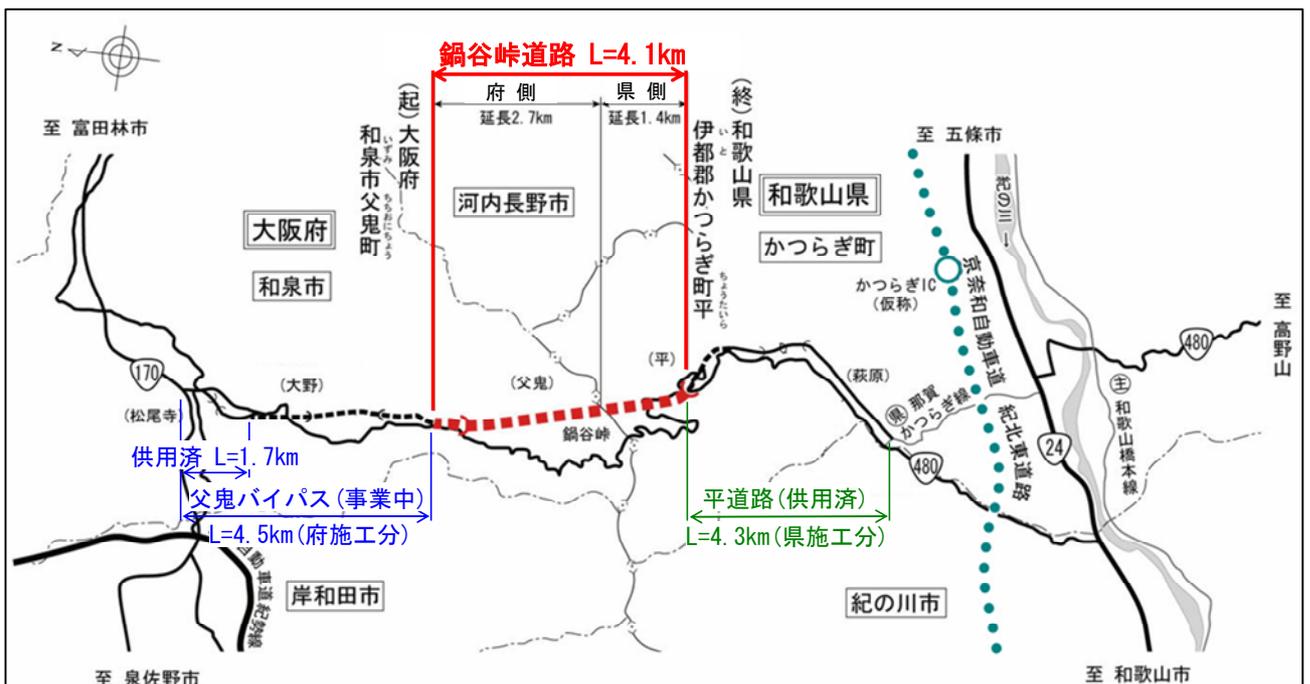


●国道480号「鍋谷峠トンネル（仮称）」着工！！

- ・ 8月2日、国道480号「鍋谷峠道路」の着工を祝う会が開催されました。
- ・ 国道480号は、大阪府泉大津市を起点として有田市の国道42号に至る幹線道路です。
- ・ このうち、大阪府と伊都郡かつらぎ町を跨ぐ延長4.1kmの区間は、国道480号「鍋谷峠道路」として、平成20年度から直轄権限代行事業により国土交通省が整備を進めており、今回、「鍋谷峠トンネル（仮称）」に着工されることとなりました。
- ・ この区間は、幅員が狭小で勾配や屈曲が大きく、また、豪雨による法面崩落や降雪などで通行止めが発生していますが、トンネルを整備することで、より安全で快適な走行が可能となります。
- ・ また、京奈和自動車道と一体整備することにより、観光振興や関西都市圏の拡大にも繋がるものと期待されます。
- ・ 仁坂知事は、「着工については、大変な思い入れがあり感激している。関係者の皆様に心から感謝申し上げるとともに、皆様のさらなる御努力により、このトンネルで繋がる伊都・橋本地域と大阪府南部地域が、一日も早く関西の中心になりますようお願い申し上げます。」と挨拶し、出席した多くの関係者とともに着工を祝いました。
- ・ 国土交通省によると供用開始は平成27年度の予定ですが、県としては、平成27年国体開催や高野山開創1200年に向けた事業推進をお願いしているところです。



<事業箇所図>



●企業進出件数が、107件になりました。

- ・この度、橋本市に本社を置く小川工業株式会社が橋本市の紀北橋本エコヒルズ「紀ノ光台」に新工場を建設することが決定しました。
- ・小川工業はトランスミッション部品、サスペンション部品、シートベルト部品等の自動車関連部品や高ナット、住宅設備用金物等の各種パーツの製造を行う企業です。
- ・独自開発のファインプレス加工が、大手自動車メーカーから高い評価を受けるとともに、世界三大オートマチックトランスミッションメーカーの内の2社(アイシンAW,ジヤトコ)から品質関連の賞を数多く受賞しています。
- ・今回、自動車向けオートマチックトランスミッションを構成する重要保安部品であるポールパーキングの生産体制の強化を図るために、新工場を建設することになりました。操業開始は平成25年6月の予定です。

●中国 SNS 新浪微博の和歌山県ページを開設！

・8月29日より、和歌山県は新たに中国最大のSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）である新浪微博（シナウェイボー）に「和歌山県」のページを開設しました。

・新浪微博は海外の主要ソーシャルメディア（フェイスブックやツイッター等）の閲覧が制限されている中国において、国内で使えるソーシャルメディア

- として急成長し、現在3億人以上のユーザー数を誇る有力な情報発信手段となっています。
- ・和歌山県では今後、観光や特産品に関する情報、中国との国際交流に関する情報等を発信し、中国における和歌山県の認知度向上や和歌山県への誘客等を図っていきます。



URL <http://www.weibo.com/prefwakayama>

※このページへのアクセスには、新浪微博のアカウント取得が必要です

●和歌山にはじめて、外国客船が寄港しました。

・8月11日、和歌山市の和歌山下津港に、県内初となる外国客船が寄港しました。

・この船は、イタリアのコスタ・クルーズ社が運航する「コスタ・ビクトリア」号で、中国・上海を出港し、日本・韓国をクルーズするコースの中に、初めて和歌山が組み込まれたものです。

・1800人余りの乗客は、入港後、バスに乗り込み、オプションツアーに出発。今回は和歌山市、高野町、白浜町を目的地とした全部で5種類のオプションツアーが用意されました。

・ツアーを楽しんだ乗客は、その日の夕刻、ジャズバンドの演奏が見送る中を上海に向けて出港しました。「コスタ・ビクトリア」号は、同様のクルーズで8月18日にも、和歌山に寄港、さらに10月にも寄港予定です。

・大型客船は観光や買い物を通して経済効果が見込まれるため、和歌山県では今後も積極的に誘致を進めていきます。



● 日高川漁協「あゆ・あまごの一夜干し」が
KIRIN 「選ぼう ニッポンのうまい! 2012」プレゼント商品に採用

・日高川漁協の「あゆ・あまごの一夜干し」が、キリンビールマーケティング株式会社が行う「選ぼう ニッポンのうまい! 2012」のプレゼント商品に採用され、8月28日に和歌山市において、発表会と試食会が開催されました。

・このキャンペーンは「食」を通じてニッポンの元気を応援することを目的に、2005年から展開されており、47都道府県のうまいもの一品が抽選で計47,000名にプレゼントされるものです。

・日高川漁協は、昨年9月の台風12号により、養殖していたあゆ40万尾、あまご20万尾が流出するなど大規模な被害を受けましたが、漁協関係者の懸命な努力や様々な支援により、11月に一部施設が復旧。1月には新たに加工処理施設「お魚工房日高川」も出来上がり、完全復旧となりました。この新設の工房で作られているのが「あゆ・あまごの一夜干し」で、漁協の復興のシンボルともいえる商品です。

・発表会には日高川漁協の大杉達組合長や日高川町の玉置俊久町長とともに仁坂知事も出席。

「大水害の復興のシンボルとして日高川のあゆ・あまごを選んでもらって非常に嬉しい。」と挨拶し、日高川のうまいものをPRしました。

・このようなキャンペーン商品への採用は、全国的な知名度アップが図られ、販路の拡大等に繋がることが期待されています。



「あゆ・あまごの一夜干し」

活けあゆとあまごを錦めて開き、絶妙な塩加減と紀州南高梅の梅酢で漬け込み、素材本来の風味を活かし、冷風にて干し上げています。

香ばしい皮の食感と、ふっくらとした身の味わいが、特徴です。



・あゆ・あまごの一夜干しは、「ふるさと和歌山 わいわい市場」のサイトから購入することができます。

・わいわい市場日高川漁協 web 直販店：<http://shop.wakayamaken.jp/hidagyo/>

●陸奥宗光シンポジウムを開催します！

陸奥宗光シンポジウム

～和歌山県(紀州藩)が生んだカミソリ大臣、陸奥宗光と日本外交～

和歌山が生んだ明治期の偉人『陸奥宗光』は、明治期の藩閥体制下に政党による議会制民主主義を早くから考究し、日本のデモクラシーの礎を築くとともに、徴兵制度等の新制度を郷里和歌山でいち早く実践するなど近代明治日本の原点を構築しました。

外務大臣時代には日清戦争とそれに続く三国干渉の難局の打開に奔走し、治外法権の撤廃と安政条約の撤廃（関税自主権の回復）に尽力しました。我が国が近代国家として主権を回復し、19世紀の欧米列強がひしめく国際社会の仲間入りを果たしたその立役者は、まさに『陸奥宗光』です。

現代の日本は、尖閣諸島等の問題や拉致問題、駐留米軍にかかる諸問題等の喫緊の課題に直面しているのみならず、東日本大震災、原発問題、世界経済の悪化に伴う経済不況等が影を落とし、まさに国難の時代と言えます。

このような現代社会においてこそ、民主主義の父、外交の父と言っても過言ではない『陸奥宗光』を外相就任120年を迎える節目の年にその功績を讃え、先人の偉大さ、先見の明、国家の命運を左右する外交の重要性を再認識し、日本国民としての誇りと自信を取り戻すきっかけとすべく、また近代日本の礎を築いた県人の事績を全国に発信しその声価を高め、県民の県土への愛着と誇りを育むため、東京においてシンポジウムを開催します。

日 時：平成24年12月1日（土）14：00～16：30

場 所：明治大学 駿河台キャンパス アカデミーコモン3階 アカデミーホール
（住所：東京都千代田区神田駿河台1-1）

出演者：岡崎久彦 岡崎研究所理事長・所長、元外務省情報調査局長、元在タイ大使
北岡伸一 政策研究大学院大学教授、元日本政府国連代表部次席代表
御厨 貴 東京大学名誉教授、明治大学特別招聘教授
松平定知 元NHKアナウンサー、京都造形芸術大学教授
外務省職員
仁坂吉伸 和歌山県知事

次 第：岡崎久彦氏による基調講演
パネルディスカッション

受付開始：9月5日（水）10：30から

申込先：明治大学リバティアカデミー事務局

<https://academy.meiji.jp>

電話 03-3296-4423

申込方法：電話またはホームページから申し込みください

（事前予約制、全席自由、先着500名）



【岡崎研究所提供】

～ 紀美野町 ～

生石高原とすすき

・生石高原は標高870メートルの生石が峰山頂に位置し、すすきの名所として有名です。

・ハイキングコースやキャンプ場も整備され、四季折々の自然を楽しむことができますが、やはり、一番のオススメは高原が徐々に黄金色に染まるこれからの季節となります。

・また、仲秋の名月である9月30日を中心とした三日間（9月29日～10月1日）、山頂にある「山の家おいし」で、「お月見コンサート」が開催されます。

・通常、午後5時の閉店時間が午後10時まで延長され、すすきと満月を背景に、美しい音楽を堪能することができます。

カフェベーカリー

・緑豊かな自然の中で、材料や作り方にこだわったパンや料理を提供するカフェやベーカリーが紀美野町には数多くあります。その存在は注目の的で、雑誌やテレビ等に取り上げられることもしばしばで、休日には県外からも多くの人が訪れます。

・紀美野町観光協会のホームページにはカフェめぐりのマップも掲載されていますので、お気に入りのカフェを見つけて、足を運んでみてはいかがでしょうか。



<http://www2.w-shokokai.or.jp/kimino/kankoukyoukai/紀美野カフェ.htm>

きみのスタンプラリー

・現在、紀美野町では「きみのスタンプラリー」を開催中。

・スタンプラリー参加の店で飲食したり、お土産を買ったりするとスタンプがもらえ、このスタンプを5個集めて応募すると、抽選で、町内の宿泊施設のペア宿泊券や飲食施設の利用券などが当たります。

・スタンプ押印期間は11月末日まで、プレゼントの応募締切も11月末日消印有効となっています。



※紀美野町ホームページ：<http://www.town.kimino.wakayama.jp/>

～編集後記～

台風12号にともなう記録的な大水害から、1年が過ぎようとしています。
改めて、亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された皆様
にお見舞い申し上げます。

多くの皆様のご支援・ご協力のおかげで、驚くべきスピードで応急復旧ができ、今
は、本格的な復旧・復興へと段階が移っています。

まだまだ被災地でお暮らしの方々にはご不便をおかけしておりますが、道路や河川
などの公共土木施設については、年度内に復旧工事の95%を完成させようと全力で
取り組んでおります。一時は、大幅に減少した観光客数も、この夏は例年並みに回復
してきました。これまでのご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。

折しも、8月30日から9月5日は防災週間でもあり、一人一人が防災について見
つめ直すには絶好の機会とも言えます。改めて、この水害を教訓に、災害に強いふる
さとを造っていききたいと思えます。

さて、そろそろ夏も終わりを告げようとしています。夏大好きの私としては少し寂
しい思いがしていますが、今年の夏は4年に一度のオリンピックに沸いた夏でした。
和歌山ゆかりのアスリート達の活躍に、パブリックビューイングで大いに盛り上がり、
テレビで連日応援と睡眠不足の日も続きましたが、同時に多くの元気ももらいました。
この元気をバネにアスリート達に負けないように、和歌山を盛り上げていきたいと思
います。

秋風を感じ始めると、旅をするにも絶好の季節となります。元気になったふるさと
和歌山へぜひお越し下さい。

知事室秘書課長 森田 康友

★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版
ならではの美しい画面を楽しんで頂けますので是非ご覧下さい。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせ下さい。また、皆様がお持ちの和歌山
に関する情報をご提供下さい。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと思
っています。

(下記のFAX(様式自由)、E-Mail等でお願ひします。)

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ <http://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/furusato/>

*個人情報につきましては、「和歌山だより」
の発行以外の目的には、使用いたしません。



2012年(平成24年)9月 NO.53

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2022